

# 平成25年度 中間決算概要

株式会社 山陰合同銀行

## 1. 利益の状況（連結）

(単位：百万円、%)

	25年度 中間期	24年度 中間期	前年同期比	
			増減額	増減率
経常収益	43,944	46,913	△2,969	△6.32
経常利益	9,465	9,486	△21	△0.22
中間純利益	5,473	3,973	1,500	37.75
《参考》包括利益	△654	3,450	△4,104	△118.95

## 2. 利益の状況（単体）

(単位：百万円、%)

	25年度 中間期	24年度 中間期	前年同期比	
			増減額	増減率
経常収益	36,791	39,722	△2,931	△7.37
業務粗利益	30,947	32,987	△2,040	△6.18
うち資金利益	27,031	26,546	485	1.82
うち役務取引等利益	2,951	2,514	437	17.38
うちその他業務利益	964	3,926	△2,962	△75.44
(うち債券関係損益)	806	3,654	△2,848	△77.94
経費	19,702	19,777	△75	△0.37
うち人件費	9,407	9,279	128	1.37
うち物件費	9,143	9,204	△61	△0.66
一般貸倒引当金繰入額 ①	1,029	△1,160	2,189	188.70
業務純益	10,215	14,370	△4,155	△28.91
実質業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	11,244	13,210	△1,966	△14.88
コア業務純益（除く債券関係損益）	10,438	9,555	883	9.24
臨時損益	△1,499	△5,750	4,251	73.93
うち不良債権処理額 ②	1,271	3,542	△2,271	△64.11
うち個別貸倒引当金繰入額	1,152	3,417	△2,265	△66.28
うち貸倒引当金戻入益 ③	—	—	—	—
うち株式等関係損益	46	△2,008	2,054	102.29
うち退職給付費用	362	445	△83	△18.65
経常利益	8,704	8,608	96	1.11
特別損益	△150	△1,455	1,305	89.69
うち減損損失（固定資産）	128	1,440	△1,312	△91.11
税引前中間純利益	8,553	7,152	1,401	19.58
法人税等合計（注）	3,165	3,296	△131	△3.97
中間純利益	5,388	3,856	1,532	39.73
《参考》与信費用 ①+②-③	2,300	2,381	△81	△3.40

(注) 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

## ■ 経常収益

国債等債券売却益の減少を主因に、経常収益は前年同期比29億31百万円減少の367億91百万円となりました。

## ■ 業務純益

国債や外国債券を中心とした有価証券残高（期中平均）の増加に伴う利息収入の増加を主因として、資金利益が増加したほか、預り資産関連の手数料収入の増加などにより役務取引等利益も増加しましたが、一方で一般貸倒引当金繰入額が増加したことに加え、債券関係損益が減少したことなどから、業務純益は前年同期比41億55百万円減少の102億15百万円となりました。

一方、コア業務純益では資金利益や役務取引等利益の増加などから、前年同期比8億83百万円増加の104億38百万円となりました。

## ■ 経常利益

上記のとおり業務純益は減少しましたが、一方で株式減損処理額の減少を主因に株式等関係損益が改善したことに加え、不良債権処理額が減少したことなどから、経常利益は前年同期比96百万円増加の87億4百万円となりました。

## ■ 中間純利益

以上の要因に加え、固定資産の減損損失の減少を主因に特別損益が改善したことなどから、税引後の中間純利益は前年同期比15億32百万円増加の53億88百万円となりました。

### 3. 預金・貸出金・有価証券の残高（単体）

（単位：億円、％）

	25年9月末	25年3月末	前期末比	
			増減額	増減率
預金	36,172	36,182	△9	△0.02
うち個人預金	23,927	23,722	205	0.86
貸出金	23,077	22,886	191	0.83
うち消費者ローン	4,859	4,760	99	2.08
住宅ローン	4,201	4,152	49	1.18
その他ローン	658	608	49	8.21
有価証券	15,899	15,976	△77	△0.48

## ■ 預金

個人預金が引き続き順調に推移したほか、法人預金も増加しましたが、一方で公金預金および金融機関預金が減少した結果、前期末残高に比べ9億円減少し、中間期末残高は3兆6,172億円となりました。

## ■ 貸出金

山陰両県を中心に住宅ローンなどの個人向け貸出が増加したほか、兵庫地区や東京地区などで法人向け貸出が増加したことなどから、前期末残高に比べ191億円増加し、中間期末残高は2兆3,077億円となりました。

## ■ 有価証券

市場動向や投資環境を勘案し、引き続き安全性・流動性を重視した投資に努めた結果、前期末残高に比べ77億円減少し、中間期末残高は1兆5,899億円となりました。

### 《預り資産残高》

（単位：億円、％）

	25年9月末	25年3月末	前期末比	
			増減額	増減率
預り資産残高	2,994	3,055	△61	△1.99
公共債	797	893	△95	△10.73
投資信託	781	788	△6	△0.87
年金保険	1,415	1,374	41	3.03

## 4. 自己資本比率（国内基準）

（単位：百万円、％）

		25年9月末	25年3月末	前期末比
連結	自己資本比率	18.72	17.99	0.73
	うちTier I比率	18.74	18.04	0.70
	うちコアTier I比率	17.28	16.59	0.69
	自己資本	275,828	271,038	4,790
	リスク・アセット等	1,472,694	1,505,998	△33,304

		25年9月末	25年3月末	前期末比
単体	自己資本比率	17.76	17.06	0.70
	うちTier I比率	17.62	16.95	0.67
	うちコアTier I比率	16.16	15.52	0.64
	自己資本	256,288	251,871	4,417
	リスク・アセット等	1,442,961	1,476,193	△33,232

※ 単体の税効果相当額（下表（A））は210億円で、基本的項目（Tier I）に占める割合は8.28%、貸借対照表上の純資産合計に占める割合は7.07%となりました。

また、貸借対照表に計上した繰延税金資産（下表（B））は0億円（34百万円）で、基本的項目（Tier I）に占める割合は0.01%、貸借対照表上の純資産合計に占める割合は0.01%となりました。

## 《繰延税金資産（単体）の発生要因別残高》

（単位：百万円）

		25年9月末	25年3月末	前期末比
繰延税金資産合計 ①		21,734	21,362	372
	貸倒引当金	13,541	12,681	860
	減価償却費	1,358	1,442	△84
	有価証券評価損	1,032	1,008	24
	退職給付引当金	3,018	3,186	△168
	その他	5,525	5,797	△272
	うち繰延ヘッジ損失 ②	3	7	△4
	評価性引当額（△）	△2,740	△2,752	12
繰延税金負債合計 ③		21,700	24,795	△3,095
	その他有価証券評価差額金 ④	21,024	24,627	△3,603
	その他	676	168	508
	うち繰延ヘッジ利益 ⑤	—	—	—

税効果相当額（A）（①－②）－（③－④－⑤）	21,054	21,187	△133
貸借対照表上の繰延税金資産（B） ①－③	34	△3,433	3,467

（注）25年3月末の「貸借対照表上の繰延税金資産（B）」は、繰延税金負債となったためマイナス表示しております。

## 《参考》

- ・自己資本比率（国内基準） =  $\frac{\text{自己資本（基本的項目（Tier I））} + \text{補完的項目（Tier II）} - \text{控除項目}}{\text{リスク・アセット等}}$
- ・Tier I比率 = Tier I ÷ リスク・アセット等
- ・コアTier I比率 = (Tier I - 税効果相当額) ÷ リスク・アセット等

## 5. 有価証券関係損益（単体）

（単位：百万円）

	25 年度中間期	24 年度中間期	前年同期比
債券関係損益	806	3,654	△2,848
売却益	893	4,056	△3,163
償還益	—	6	△6
売却損	12	409	△397
償還損	—	—	—
償却	75	—	75

株式等関係損益	46	△2,008	2,054
売却益	126	38	88
売却損	80	—	80
償却	0	2,046	△2,046

## 6. 有価証券の評価損益（単体）

（単位：百万円）

	25 年 9 月 末			
	評価損益			評価損
	25 年 3 月 末 比	評価益	評価損	
満期保有目的		△100	△48	27
子会社・関連会社株式	—	—	—	—
その他有価証券	※ 60,053	△10,161	63,164	3,111
株式	10,994	6,521	11,756	762
債券	46,872	△12,545	47,035	163
その他	2,186	△4,136	4,372	2,185
合 計	59,952	△10,210	63,191	3,239
株式	10,994	6,521	11,756	762
債券	46,771	△12,594	47,063	291
その他	2,186	△4,136	4,372	2,185

※ 上記評価損益のうち、その他有価証券の評価損益600億円から、これに対する税金相当額210億円を差し引いた額390億円を、中間貸借対照表の純資産の部に「その他有価証券評価差額金」として計上しております。

## 7. 不良債権の状況（単体）

## 《リスク管理債権》

（単位：億円）

	25年9月末	25年3月末	前期末比
破綻先債権額	54	55	△0
延滞債権額	626	611	14
3カ月以上延滞債権額	4	—	4
貸出条件緩和債権額	141	128	13
<b>リスク管理債権合計</b>	<b>827</b>	<b>795</b>	<b>31</b>
総貸出金に占める割合（％）	3.58	3.47	0.11
貸倒引当金のリスク管理債権に対する引当率（％）	49.60	49.92	△0.32
貸出金残高（末残）	23,077	22,886	191
（参考）部分直接償却を実施した場合のリスク管理債権合計	694	661	33
上記の総貸出金に占める割合（％）	3.02	2.90	0.12

## 《金融再生法開示債権》

（単位：億円）

	25年9月末	25年3月末	前期末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	258	268	△9
危険債権	435	412	23
要管理債権	145	128	17
<b>金融再生法開示基準の不良債権合計</b>	<b>840</b>	<b>808</b>	<b>31</b>
総与信に占める割合（％）	3.56	3.46	0.10
担保・引当等によるカバー率（％）	82.00	83.42	△1.42
貸倒引当金による保全不足に対する引当率（％）	64.49	67.20	△2.71
正常債権	22,718	22,565	153
合 計	23,558	23,374	184
（参考）部分直接償却を実施した場合の不良債権合計	699	666	33
上記の総与信に占める割合（％）	2.98	2.86	0.12

## 《与信費用の推移》

（単位：百万円）

	25年度 中間期	24年度		23年度	
		中間期		中間期	
個別貸倒引当金繰入額	1,152	3,417	5,189	—	—
貸出金償却	—	—	0	—	—
その他債権売却損等	118	124	485	84	627
不良債権処理額 ①	1,271	3,542	5,675	84	627
一般貸倒引当金繰入額 ②	1,029	△1,160	450	—	—
貸倒引当金戻入益 ③	—	—	—	1,279	1,563
<b>与信費用（①+②-③）</b>	<b>2,300</b>	<b>2,381</b>	<b>6,126</b>	<b>△1,195</b>	<b>△935</b>

## 8. 中期経営計画の計数目標と実績

	25年度中間期 (実績)	26年度通期 (最終年度目標)
コア業務純益	104億円	240億円以上
当期純利益	53億円	105億円以上
役務取引等利益	29億円	62億円以上
OHR (経費/コア業務粗利益)	65.36%	62%未満
不良債権比率 (金融再生法開示基準)	3.56%	2.9%未満
自己資本比率	17.76%	17%以上

(注) 1. いずれも単体ベース。

2. コア業務純益 = 業務純益 - 債券関係損益 + 一般貸倒引当金繰入額

3. コア業務粗利益 = 業務粗利益 - 債券関係損益

## 9. 業績予想

《単体》

(単位：百万円)

	25年度通期予想
経常収益	72,300
経常利益	16,500
当期純利益	10,200
業務純益	20,500
コア業務純益	20,700

《連結》

(単位：百万円)

	25年度通期予想
経常収益	86,300
経常利益	18,100
当期純利益	10,400

《業績予想の前提としての与信費用予想額：単体》

・25年度通期予想 48億円 (上期実績23億円、下期予想25億円)

《1株当たり配当予想：単体》

・25年度中間配当 4円00銭

・25年度期末配当予想 7円00銭 (年間配当11円00銭)

以上